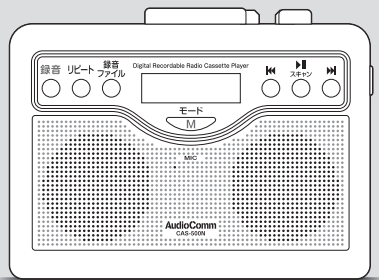


AudioComm®

デジタル録音ラジオカセット

保証書付 取扱説明書

型番：CAS-500N 品番：03-5568



このたびは、AudioComm® デジタル録音ラジオカセットを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用
前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられ
た後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無
料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられ
た場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ)一般家庭用以外(例：業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社
修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	デジタル録音ラジオカセット	★お買い上げ日：	年	月	日
型番	CAS-500N	品番	03-5568	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)	
お客様	★お名前 みづから ★ご注文 ー 様				
電話	()				

修理メモ

販売店	★住所	店名	電話
(印)			

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとに
おいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保
証責任者)及びそれ以外の事業者に対するお客様の
の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、
お買い上げの販売店または弊社修理ご相談セン
ターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証
期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動
のために記載内容を利用させていただく場合があ
りますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは、お客様相談室へ	●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
電話受付	0120-963-006	048-992-2735
電話受付	平日 9：00～17：00	※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は、修理ご相談センターへ	電話受付	048-992-3970
		平日 9：00～17：00
		※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

目次

免責事項	1	カセットテープを聴く	9~10
著作権について	1	ラジオを聴く	11~12
静電気に関するご注意	1	microSDカードを再生する	13~14
安全上のご注意	2~4	microSDカードに録音する	15~16
カセットテープについて	5	録音したファイルを削除する	16
microSDカードについて	5	イヤホンで聴くときは	16
各部の名称	6	故障かなと思ったら	17
乾電池の入れかた	7	主な仕様	18
家庭用電源で使うときは	7	お手入れのしかた	19
電源の入/切とモードの切り換え方法	8	保証書とアフターサービスについて	19
音声出力について	8	保証書	裏表紙

免責事項 下記の事項につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

著作権について

放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使うと、耳にぴりぴりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。また、静電気が体に蓄積された状態でボタンを操作すると、動作・記録データなどに不具合が生じる場合があります。これらの現象は、静電気が発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響を軽減することができます。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる場合があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。



警告

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。ご確認ください。

万一、煙が出ている、変なにおいや音がかかるなどの異常を感知したら、すぐに電源を切り、乾電池を取り外す。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く

- ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く

- ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

分解、修理、改造しない

- ・火災・感電の原因となります。

ACアダプターは必ず本機の仕様に適した製品を使う。自動車・船舶などの直流DC電源に接続したり、海外でACアダプターにより使用しない

- ・破損や火傷、発煙、火災の原因となります。

雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びACアダプターに触れない

- ・感電のおそれがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする

- ・万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない

- ・火災や感電の危険があります。

本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない

- ・火災の原因となります。

車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない

- ・交通事故の原因となります。
- ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。

本機の上に重いものをのせたり、ACアダプターのコードの上に本機をのせない

- ・本機が破損・故障したり、火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)



警告

以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

本機やACアダプターのコードを毛布や敷物などで覆わない

- ・熱により本機やACアダプターが変形したり、気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する

- ・手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。
- ・本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。ACアダプター使用時に異常が生じたときには、すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。

ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

- ・コードが破損して火災・感電の原因となります。



注意

以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

お子様がカセットドア内に手を入れないように注意する

- ・けがの原因となることがあります。

持ち運ぶときは、アンテナをたたむ

- ・伸ばしたまま運ぶと、アンテナが引っ掛かったり、当たったりして、けがや破損の原因となることがあります。

音量を上げすぎない

- ・周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない

- ・落下してけがや破損、故障の原因となることがあります。

キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

- ・磁気の影響でカードが使えなくなるおそれがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

- ・火災・感電の原因となることがあります。

本機の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かない

- ・発火・感電の原因となったり、けがや破損のおそれがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

- ・キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

落としたり、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない

- ・故障や破損の原因となることがあります。

調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湯気が当たるような場所に置かない

- ・火災・感電の原因となることがあります。

電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、パソコン、モニターなど)に近づけない

- ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない

- ・コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずアダプター本体を持って抜いてください。

長期間本機を使わないときは、乾電池を取り外す。ACアダプターもコンセントから抜く

- ・火災・液もれの原因となることがあります。

ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に清掃する

- ・ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまること、自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的なほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない



注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

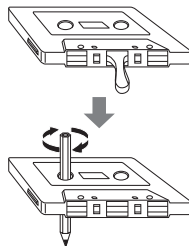
カセットテープについて

本機ではカセットテープの再生のみ可能です(録音はできません)。また、テープの巻きつきや切断、本機の故障や破損の原因となりますので、以下の点をお守りください。

本機で使えるカセットテープ

C-60(再生時間が60分)以内のノーマルテープ(Type I)をお使いください。

- ハイポジションテープ(Type II)やメタルテープ(Type IV)、エンドレステープは使えません。ノーマルテープの場合でも、C-60を超える長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄く、トラブルの原因となりますので使わないでください。
- テープのたるみを確認め、たるんでいる場合は図のように鉛筆などで必ず直してからお使いください。
- 大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。
- 使い終わったら必ず本機からカセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。



操作するときのご注意

再生中に早送り/巻戻しをするときや、早送り/巻戻しから再生に戻るときなど、テープが動いているときは、必ず停止ボタンで動作をいったん停止させてから、次の操作をしてください。

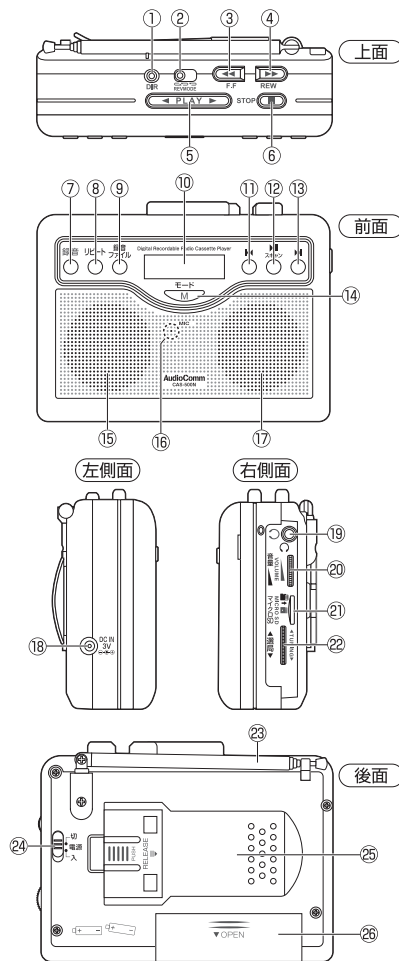
microSDカードについて

本機で再生できるmicroSDカードは以下のとおりです。

規格	容量	ファイル形式	ファイル・フォルダー構成(推奨)
FAT FAT16 FAT32	最大32GB	MP3	最大ファイル数: 50000以下 最大フォルダー数: 64以下 階層: 最大8階層まで 1ファイルあたり最大4GB

- 上記に該当する場合でも、書き込み時の状況やmicroSDカードの質などにより、再生できない場合があります。
- データ量の大きいファイルが含まれていたり、フォルダー数・ファイル数が多い場合、読み込みや再生に時間がかかることがあります。
- データ消失を防ぐため、ご使用前にmicroSDカード内のデータを他のメディアにバックアップしてください(弊社ではメディアの破損、データの消失などに関して一切の責任を負いません)。

各部の名称

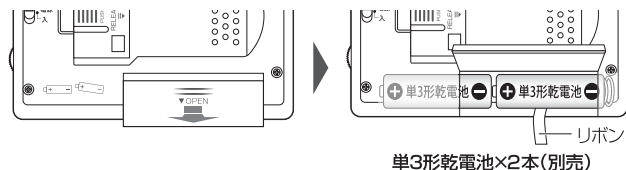


- ①再生反転ボタン(DIR) ——— カセット部
- ②リバースモード切換スイッチ(REVMODE)
- ③早送りボタン(F.F)
- ④巻戻しボタン(REW)
- ⑤再生ボタン(PLAY)
- ⑥停止ボタン(STOP)
- ⑦録音ボタン
- ⑧リピートボタン
- ⑨録音ファイルボタン
- ⑩ディスプレイ
- ⑪スキップボタン(⏮)
- ⑫再生/一時停止/スキャンボタン
- ⑬スキップボタン(⏭)
- ⑭モードボタン
- ⑮左スピーカー
- ⑯録音マイク
- ⑰右スピーカー
- ⑱DC IN端子
- ⑲イヤホン端子
- ⑳音量ダイヤル
- ㉑microSDカードスロット
- ㉒選局ダイヤル
- ㉓FMロッドアンテナ
- ㉔電源スイッチ
- ㉕ベルトフック
- ㉖電池カバー

ベルトフック(㉕)について

⏮を押さえながらRELEASEの方向にスライドさせると、ベルトフックを取り外すことができます。再度取り付けるときは本機のくぼみにベルトフックのツメを合わせ、最後までしっかりと差し込んでください。

乾電池の入れかた



1 電池カバーを▼OPENの方向にスライドさせた後、持ち上げて開けます。

2 単3形乾電池×2本(別売)を、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます。
コイルバネのあるほうが⊖です。2本目を入れるときは⊖側から入れてください。

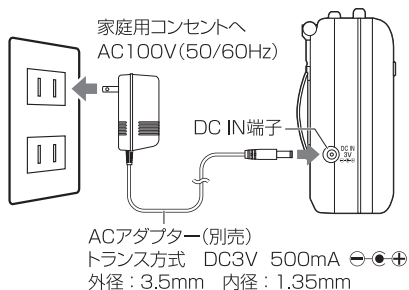
3 入れ終わったら電池カバーを元どおりに閉めます。

- リボンの上から乾電池を装着すると、交換時に取り出しやすくなります。
- 乾電池の残量が少なくなると、ディスプレイにLowマークが点滅し、モードの切り換えやテープ走行が不安定になったり、雑音が多くなったりします。早めに新しい乾電池と交換してください。

家庭用電源で使うときは

本製品にはACアダプターは付属しておりません。市販のACアダプター(DC3V 500mA ⊖⊕ トランス方式 外径:3.5mm 内径:1.35mm)をお買い求めのうえご使用ください。

- ACアダプター(別売)を使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続してください。
- ACアダプター使用時は乾電池を装着している場合でも、自動的に家庭用電源に切り換わります。
- 本機を使用しないときはACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。

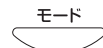


- 必ず本機の仕様と適合したACアダプターをお使いください。適合しないアダプターを使うと、機器の破損や火傷、発煙、火災の原因となる場合があります。
- トランス方式のACアダプターをお使いください。スイッチング方式のものを使うと、ラジオ受信時に雑音が入ることがあります。

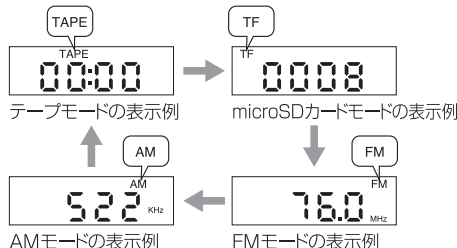
電源の入/切とモードの切換方法



- 背面の電源スイッチを「入」に合わせると電源が入ります。
- 「切」に合わせると電源が切れ、ディスプレイ表示が消えます。使用後は必ず電源を切ってください。



電源を入れると本機はテープモード(カセットテープの再生)になります。それ以外のモードに切り換えるにはモードボタンを押してください。押すたびにモードが切り換わります。



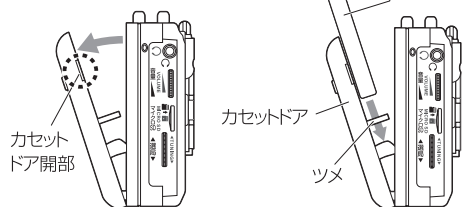
- カセットテープのボタン(再生、早送り、巻戻しのいずれか)を押すと、他のモード選択中でもテープモードになります。
- microSDカードモードはmicroSDカード装着時のみ表示されます。
- microSDカードを装着している状態で、テープモード、FMモード、AMモードのときに録音ファイルボタンを押すと、microSDカードモード(録音ファイルグループを優先表示)になります。microSDカード未装着の場合は、FMモードになります。
- microSDカードモードでのファイルグループとファイルの選択方法については、P.13~14を参照してください。
- microSDカードモードにおいて、一時停止中はモードやファイルグループの切換、前後ファイルへのスキップができません。再生中に操作してください。

音声出力について

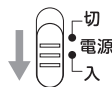
本製品は、FMステレオ放送受信時及びステレオ音声のMP3ファイル再生時はスピーカー、イヤホンともにステレオ音声出力ですが、それ以外の音源はモノラル出力となります。

カセットテープを聴く

- 1 カセットドア開部を指先で引いてカセットドアを開け、カセットテープの聴きたい面をドア側にしてセットします。ツメの間にカセットテープをスライドさせてセットします。セットし終わったら、カセットドアを確実に閉めてください。



- 2 電源スイッチを「入」に合わせます。ディスプレイに「HEII」が表示された後、テープモードになります（「TAPE」と「00:00」が表示されます）。



- 3 再生ボタンを押すと再生が始まります。再生が始まると、動作カウンターが進みます。



各ボタンの機能

	再生開始		早送り		巻戻し
	再生、早送り、巻戻しを停止		一時停止（動作カウンター停止） ※もう一度押すと再生を再開		

オートリバース機能

	再生方向を反転		両面を繰り返し再生		両面を1回再生した後に停止※
--	---------	--	-----------	--	----------------

※反転再生時はテープの終わりで停止します。

- 早送り、巻戻しは正方向に対しての動作になりますので、反転再生時には早送りボタンが巻戻し、巻戻しボタンが早送りになります。
- 反転再生時に早送り、巻戻しを行うと、その後再生を再開したときは、正方向の再生になります。必要に応じて再生反転ボタンを押して再生方向を反転させてください。

- 4 音量ダイヤルで音量を調節します。音量の上げすぎにご注意ください。



- 5 再生を止めるときは、停止ボタンを押します。



- 6 使い終わったら、電源スイッチを「切」に合わせます。使い終わったら、必ずカセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。



●ボタン操作時のご注意

再生・早送り・巻戻しの各動作を止めるときは、必ず停止ボタンを押してください。動作中に停止ボタン以外のボタンを押すと、故障の原因になります。また、早送り・巻戻し時は、テープが最後まで進んでも自動で再生ボタンは上がりません（動作カウンターもそのまま進みます）。故障の原因となりますので、そのまま放置せず、必ず停止ボタンを押してください。

●動作カウンターについて

再生・早送り・巻戻し時に表示される動作カウンターは、各動作の経過時間を示すもので、テープの再生位置を示すものではありません。

- ・停止ボタンを押して任意の動作を終了させると、カウンターはその都度「00:00」にリセットされます。また、早送りや巻戻し時も「00:00」からカウントが進み、数字が送られる速さも再生時と同じです。
- ・カウンターの数字は正確な分/秒を示すものではありません。

●モードの切換について

- ・カセットテープ再生中にモードボタンを押すと、モード自体は切り換わりますが、再生ボタンは押されたままです。必ず停止ボタンを押してください。
- ・テープモード以外のときに、カセットテープの再生ボタン、早送りボタン、巻戻しボタンのいずれかを押すと、テープモードになります。

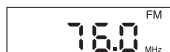
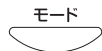
- テープ動作中は絶対にカセットドアを開けないでください。

ラジオを聴く

- 1 電源スイッチを「入」に合わせます。
電源が入り、ディスプレイに「HEIIO」と表示された後、テープモードになります。



- 2 モードボタンを押して、お聴きになりたいバンド(AMまたはFM)を選びます。



FMモードの表示例



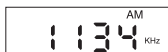
AMモードの表示例

- 3 選局ダイヤルを回して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

ディスプレイに表示される周波数は、実際に受信している周波数と多少の誤差が生じることがあります。受信状態を確認しながらいっばん良く聞こえる周波数に合わせてください。



FMモードの表示例
(0.1MHzステップ)



AMモードの表示例
(9kHzステップ)

- 4 音量ダイヤルで音量を調節します。
音量の上げすぎにご注意ください。



- 5 再生/一時停止/スキャンボタンを押すと消音します。

消音中は周波数表示が点滅します。もう一度押すと、消音が解除されます(再生/一時停止/スキャンボタンを長押しすると、オートスキャンになりますのでご注意ください)。



- 6 使い終わったら、電源スイッチを「切」に合わせます。
ディスプレイ表示が消えます。



●オートスキャンについて

- ラジオモードで再生/一時停止/スキャンボタンを長押しすると、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順次登録していきます(AM・FM各最大30局)。
- 受信可能な放送局が見つかった、「P」で始まる2桁の数字(プリセット番号)を一時的に表示します。スキャンが終わると最初に登録された放送局(PO1)を受信します。
- できるだけ電波状況の良い時間帯・場所に操作してください。
- オートスキャンで登録した放送局は、スキップボタン(⏮/⏭)で選ぶことができます。このときも、一時的にプリセット番号を表示し、続いて周波数表示になります。
- お使いのエリアが変わった場合は設定し直してください。
- 任意の放送局を個別に登録したり、削除することはできません。

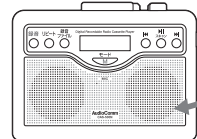


より良く受信するために

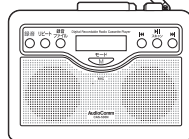
- AM受信時：アンテナが内蔵されています。最も良く聞こえるように本機の場合や向きを調節してください。
- FM受信時：FMロッドアンテナを伸ばし、アンテナの向きや角度を調節してください。

※室内の場合、窓際の方が良く受信できます。

AM受信時



FM受信時



- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離れてご使用ください。
- けがや破損のおそれがありますので、持ち運ぶときはFMロッドアンテナをたたんでください。

ワイドFM(FM補完放送)について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

microSDカードを再生する



- microSDカードを抜き差しするときは必ず事前に電源を切ってください。データの破損や本機の故障につながるおそれがあります。
- 何もデータが記録されていないmicroSDカードは本機で認識できません。事前にパソコンなどから任意のMP3ファイルをコピーしてからお使いください。

- 本機はmicroSDカード内のファイルを2つのグループに分けて認識し、microSDカードモードを選んだ直後は、コピーファイルグループが読み込まれます。

コピーファイルグループ

本機以外の機器で書き込まれたファイルグループ(ディスプレイに マークなし)



録音ファイルグループ

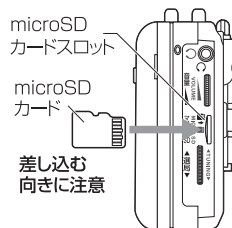
本機で録音したファイルグループ(ディスプレイに マークあり)



- 読み込み後は0001と表示されますが、乾電池を取り外すか、microSDカードを入れ替えない限り、2回目以降は、前回、再生していたファイル番号が表示されます。
- 表示される総ファイル数やファイル番号は、書き込んだ機器の仕様やフォルダー構成、ファイル追加・削除の履歴により、実際の数字と異なることがあります。

- 1 電源が切れている状態で、microSDカードを装着します。

差し込む向きに注意しながら、microSDカードスロットにカチッと音がするまで爪先で押し込んだ後、指を離します。



- 2 電源スイッチを「入」に合わせて電源を入れた後、モードボタンを押して、microSDカードモードにします。



microSDカードモードを選んだ直後は、コピーファイルグループが読み込まれます。

コピーファイルグループから録音ファイルグループに切り換えるには、録音ファイルボタンを押してください。

録音ファイルグループからコピーファイルグループに切り換えるには、モードボタンを数回押してモードを一巡させ、改めてmicroSDカードモードにしてください。

- 3 再生/一時停止/スキャンボタンを押すと、再生が始まります。再生が始まると、動作カウンタが進みます。

TF
00:02

- 4 音量ダイヤルで音量を調節します。音量の上げすぎにご注意ください。



- 5 停止するときには、再生/一時停止/スキャンボタンを押します。ディスプレイに「II PAUS」が表示され、もう一度押すと、再生を再開します。※本機では、停止と一時停止は同義です。

- 6 使い終わったら、電源スイッチを「切」に合わせます。ディスプレイ表示が消えます。microSDカードを抜くときは、電源を切った後、カチッと音がするまで爪先などでいったん押し込み、カードが出てきたら取り出してください。



各ボタンの機能

	再生/一時停止		録音ファイルグループに切り換える
	次のファイルを再生		リピートモードを切り換える すべてのファイルを繰り返し再生
	1つ前のファイルを再生		再生中または、選択中のファイルを繰り返し再生
	モードを切り換える		リピート解除(最後のファイルまで再生して停止)

※一時停止中は、モード切換やファイルグループの変更、前後ファイルへのスキップ、リピート設定の変更ができません。再生中に操作してください。

ファイルの再生順について

- コピーファイルグループの場合は、フォルダー階層の上位から下位へと再生していきますが、同一階層での再生順はファイルやフォルダーの作成/コピー状況により異なります。実際の再生順でご確認ください。
- 録音ファイルグループの場合は、古い順に再生します。

microSDカードに録音する



- 電源が切れた状態で、事前にmicroSDカードを本機に装着してください。
- 何もデータが記録されていないmicroSDカードは本機で認識できません。事前にパソコンなどから任意のMP3ファイルをコピーしてからお使いください。
- 録音レベルは一定ですので、音量ダイヤルを操作しても影響はありません。
- 十分に空き容量のあるmicroSDカードをご使用ください。
- 長時間録音するときは、家庭用電源の使用をおすすめします。

1 本機の電源を入れ、録音したい音源に合わせて、以下の準備をします。

- ラジオ放送を録音するとき** 録音したい放送局を受信します。
- 周囲の音を録音するとき** 録音マイクをできるだけ音源に近づけてください。
- カセットテープから録音するとき** カセットテープをセットして、テープモードにします。

2 録音ボタンを押すと、録音が始まります。

録音



「rEC」表示に続いて録音が始まります。
カセットテープから録音するときは、カセットテープを再生させた後、録音を開始したいところで録音ボタンを押してください。
録音中に再生/一時停止/スキャンボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと録音を再開します。



ラジオ音声の録音時は、周波数に加えて「TF」と「REC」が表示されます。



周囲音の録音時は、「TF」、「REC」と録音のカウンターが表示されます。



カセットテープの録音時は、「TF」、「REC」と再生のカウンターが表示されます。

3 録音を終了するときは、もう一度録音ボタンを押します。

「TF」、「REC」の表示が消えて、録音が終了します。
ラジオ音声録音/カセットテープからの録音時は、録音終了後も、ラジオ受信またはカセットテープの再生が続きますので、適宜、必要な操作をしてください。

4 使い終わったら、電源スイッチを「切」に合わせます。 ディスプレイ表示が消えます。



録音データは、microSDカード内に生成される「jrec」フォルダー内に、ファイル名「rec00000」からの連番で保存されます(録音順に00000、00001、00002と変化)。ただし、本機ディスプレイではフォルダー名表示やファイル名表示はありません。

録音したファイルを削除する



本機で録音したファイルを再生中に、再生/一時停止/スキャンボタンを長押しすると、ファイルが削除されます(一時的に「dEL」が表示されて削除され、しばらくすると次のファイルの再生が始まります)。

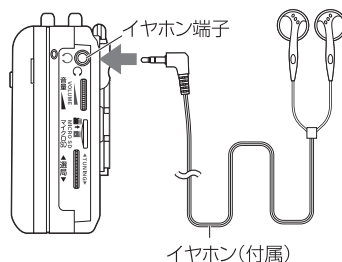


- コピーファイルグループのファイルは本機では削除できません。パソコンなどで操作してください。
- ファイルを削除すると、それ以降のファイルはディスプレイに表示される番号が繰り上がります。
- 削除したファイルは復元できませんのでご注意ください。

イヤホンで聴くときは

付属のステレオイヤホンのプラグ(φ3.5mm ステレオミニプラグ)をイヤホン端子に接続してください。

- 接続するとスピーカーからの音は出力されなくなります。
- FMステレオ放送受信時及びステレオ音声のMP3ファイル再生時はステレオ音声出力ですが、それ以外の音源はモノラル出力となります。
- モノラルタイプのイヤホンはお使いになれません。



故障かなと思ったら

動作しない	●乾電池が正しく入っていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●ACアダプター使用時：ACアダプターがはずれていませんか（ゆるんでいませんか）。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが差し込まれていませんか。
カセットドアが閉まらない	●カセットの向きは正しいですか。 ●カセットドア内にあるツメの間に正しく入れていますか。
テープ走行が不安定 テープが走行しない	●テープがたるんでいませんか。 ●乾電池が消耗していませんか。
テープが巻きつく	●ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか。 ●テープがたるんでいませんか。 ●カセットドアがきちんと閉まっていますか。
ラジオに雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
microSDカードが差し込めない	●表裏や差し込む向きは正しいですか。
microSDカードを認識しない	●microSDカードスロットに正しく装着されていますか。奥までしっかりと差し込まれていますか。 ●ファイルが正しく記録されたmicroSDカードをお使いですか。 ●空のmicroSDカードを装着していませんか。 ●MP3形式以外のデータが含まれていませんか。 ●microSDカード内のデータが壊れていませんか。 ●規格外のmicroSDカードを使用していませんか。
録音できない 録音が途中で止まる	●microSDカードの空き容量が少なくなっていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。
一度のボタン操作で反応しない	●ボタンを素早く押すと反応しないことがあります。ゆっくり丁寧に押してみてください。 ●乾電池が消耗していませんか。

主な仕様

電源	DC3V(単3形乾電池×2本：別売)			
外部電源	DC3V 500mA  外径3.5mm 内径1.35mm(ACアダプター：別売)			
最大出力	195mW			
スピーカー	口径40mm(8Ω)×2			
受信周波数	AM：522～1620kHz FM：76～108MHz			
アンテナ	AM：フェライトバーアンテナ(内蔵) FM：ロッドアンテナ			
microSDカード	最大32GB			
録音ファイル形式	MP3			
MP3再生ビットレート	32～320kbps			
MP3録音ビットレート	128kbps			
イヤホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック			
乾電池での連続使用 可能時間※1	再生		録音※2	
	スピーカー	イヤホン	スピーカー	イヤホン
	AMラジオ	16時間	20時間	12時間
	FMラジオ	19時間	26時間	17時間
	microSDカード	17時間	19時間	46時間
	カセットテープ	6時間	10時間	5時間
外形寸法	幅122×高さ91×奥行42mm			
質量	約250g(乾電池含まず)			
付属品	ステレオイヤホン、保証書付取扱説明書			

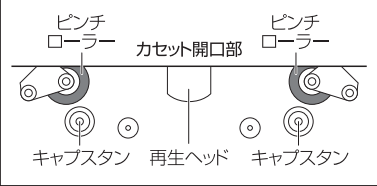
※1 アルカリ乾電池使用(新品、音量：中程度)の場合の目安です。使用状況などにより異なります。
※2 AMラジオ、FMラジオ、カセットテープの録音時間は、各モードを音源としてmicroSDカードに録音するときの目安です。また、microSDカードは、録音マイク(内蔵)で周囲の音を録音するときの目安です。ただし、いずれもmicroSDカードの容量を超えて録音することはできません。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

お手入れのしかた

ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほごりなどが付着して汚れてきます。汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さいなどの症状が出ます。また、テープが巻き込まれる原因にもなりますので、定期的にヘッド部を清掃してください。

ヘッド部の清掃方法

カセットドアを開け、市販のクリーニングキットでヘッドやピンチローラー、キャプスタンなどの汚れを拭き取ります。次に使うときは、内部についたクリーナー液が十分に乾いてから、カセットテープを入れてください。



- キャビネットのお手入れ
- キャビネットやボタンなどが汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後、から拭きしてください。
 - シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。